

藝 林

GEI RIN

第五十二卷 第一号

平成十五年四月

すべて新なる説を出すは、いと大事也。いくたびもかへさひおもひて、よくたしかなるよりどころをとらへ、いづくまでもゆきとほりて、たがふ所なく、うごくまじきにあらずは、たやすくは出すまじきわざ也。その時には、うけばりてよしと思ふも、ほどへて後に、いま一たびよく思へば、なほわろかりけりと、我ながらだに思ひならる、事の多きぞかし。

本居宣長（『玉勝間』一の巻）